Ⅲ　協会各事業所の管理運営

１．京都市洛西ふれあいの里療護園

障害者支援施設【生活介護事業・施設入所支援・短期入所事業】

特定相談支援事業所

（1）総　括

今年度は長引くコロナ禍による利用者の心身や生活の質への影響についてより一層の配慮を要し、高齢化・障害の重度化の課題にも向き合う一年となった。

コロナに関しては、利用者とともにコロナ禍前の生活を取り戻すことを希望に年度を開始したが、実際には、陽性者等も発生し、職員・利用者は感染予防対策、ワクチン接種や、定期抗原検査（京都市支給）、下水サーベランス事業※の活用など、クラスター予防を継続することとなった。特に８月下旬および12月中旬からの１週間は、利用者・職員ともに陽性者が発生し、利用者への感染拡大は比較的抑えられたものの、レッドゾーン対応職員は対策をしても感染者が出る時期があり、同時に７名の職員が陽性となった。職員体制にかなりの工夫と労力を生じさせた。上記のような緊張感が継続する中、呼吸機器使用の利用者が陽性となり、救急車を要請するも医療崩壊で病院の受け入れができない事態にも直面し先の見えない時期もあった。しかし、職員の規律は乱れることはなかった。陽性者対応は診療所・京都市医療衛生企画課と連携しながら毎回終息への対応に追われたが付随する作業として、市やご家族への報告、予防医療の手配・備品の発注・助成金申請など事務職の手間も膨大となった。緊急の課題が出るたびに診療所と連携することで、施設内治療としてのラゲブリオ・ゾコーバの処方が早期にできるようになっている。短期入所利用については、活動スペースを分けることで、継続できた。

また、所属だけでリスクを抱えるのではなく緊急時には法人事務局からの協力があった。各種相談に対しての指示、衛生物品の調達についても迅速に対応してもらえ運搬も含めたサポートがあった。そのほか、陽性者の支援を行うことで帰宅難民となる職員に対しての宿泊費用の取り扱いに対しても適切な指示を得られたため、現場職員の安心に繋がった。なお、４年度の陽性者27名の内訳は利用者５名、職員22名であった。コロナ以外の取り組みでは、職員はできる限りコロナ前と同じボリュームで利用者の活動を保障した。季節のイベントを多数企画し、週末の買い出し活動を積極的に行った。その他療護園ならではの期日前投票所の開設、訪問歯科・理容の継続、個別外出支援もコロナ平穏時に利用者のリクエストに応えた。自主的に非常勤職員が集まり、園芸（ボランティア）で施設の空き地を飾ってくれることもあり、利用者の中には自分でも花を育てたいと園芸意欲が高まるなどもあった。園芸をできるスペースがあることも施設の魅力と再確認できた。

ご利用者数の変動については、令和４年２・３月に２名がご逝去され、定員が46名になり、年度内に４名の新規利用者を迎える。しかし、令和４年９月・令和５年２月に開園当初からのご利用者がご逝去され、欠員が生じている。お亡くなりになった利用者は、生前、療護園の皆さんに挨拶がしたいと望まれ、ご逝去

後、葬儀前に立ち寄られた。他のご利用者全員もそれに応える形で、故人を囲みこれまで通り、お別れの会を開催した。職員育成については後述するように厳しい一年に対し、歓迎会・慰労会なども開催できぬまま課題が継続した。

※下水サーベランス　正式名：ウィズコロナ時代の実現に向けた主要技術の実証・導入に係る事業企画下水サーベランスの活用に関する実証事業
（株式会社三菱総合研究所が内閣官房「ウィズコロナ時代の実現に向けた主要技術の実証・導入に向けた調査研究業務」の一環として実施するもの）

（2）職員体制（令和４年度末現在）

管理者（施設長）１名　副施設長１名　支援係長１名（サービス管理責任者兼務）相談支援専門員（生活支援担当兼務）２名　事務職員１名　事務補助職員１名　生活支援担当主任３名　生活支援員 19 名　生活支援補助職員４名　生活支援非常勤職員 13 名（常勤換算 6.8 名）　看護職員１名　嘱託看護師 1.6 名　派遣看護師２名　管理栄養士１名　非常勤医師３名（常勤換算 0.2 名）清掃・洗濯職員非常勤職員４名（常勤換算 2.1 名）理学療法士嘱託１名（常勤換算 0.8 名）＊調理は業務委託

（3）利用者の状況

ア　年齢別の状況　生活施設　最高年齢　87 歳　最低年齢　36 歳

30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代
１名	７名	17 名	10 名	12 名	１名

平均年齢　59.6 歳

イ　在所期間の状況

１年未満	１～５年	５～10 年	10～15 年	15～20 年	20～25 年	25～30 年	30 年以上
４名	８名	７名	２名	５名	２名	４名	16 名

ウ　利用者の日常生活動作等の状況

	自　立	一部介助	全面支援
食　事	14 名（29%）	11 名（22.9%）	23 名（48%）
排　泄	１名（２%）	９名（18.8%）	38 名（79%）
着脱衣	２名（４%）	９名（18.8%）	37 名（77%）
入　浴	０名（０%）	４名（８.3%）	44 名（92%）
寝返り	15 名（31%）	19 名（39.6%）	14 名（29%）
車いす移動	14 名（29%）	12 名（25.0%）	22 名（46%）
歩　行	１名（２%）	３名（６.3%）	—

エ　医療的ケアの状況

注入食	１１名	（胃ろう　１１名）	
痰吸引	１４名	（うち１名気管カニューレ内も行う）	
人工呼吸療法器装着	３名	在宅酸素療法	４名
人工肛門（ストーマ）	１名	膀胱留置カテーテル	３名

オ　障害支援区分

区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６
０名	０名	０名	０名	２名	46名

平均障害支援区分　5.96

カ　主な障害の状況

脳性麻痺	脊髄損傷	脳梗塞・脳内出血後遺症	頭部外傷	視覚障害	その他
26名 (54%)	１名 (2.1%)	８名 (17%)	５名 (10%)	２名 (4.2%)	６名※ (13%)

※水頭症・ベーチェット病・マルファン症候群・心不全等

（４）重点方針と事業内容　取組結果

ア　利用者・職員の心身の健康と安全・安心

療護園だからこそできる命を大切にする支援を実施するため、医務との連携会議を月に2回設け、個々の支援・医療の支援方針をまとめており、各医療機関との連携強化もできている。通院や入院を要する方も増加傾向であり、日々の医療提供については、嘱託医や診療所管理者（医師）がいることで、連携がスムーズであり、緊急時の症状の見立てなども相談できる状況となっている。一方、早朝・夜間の救急要請時には、急変時の対応等（蘇生・延命）の本人意思を医療機関で問われることがあり、延命同意書の解釈については、医療・法的にも正しく支援できるよう、医師・法律家の意見も踏まえ整理できるよう改定に取り組んだ。

口腔ケア・嚥下機能の維持に向けた外部講師の招聘は、コロナ禍で叶わず、次年度に持ち越しとなったが、訪問歯科を月に1度来ていただくことで、継続的にご利用者の口腔内の管理は出来ている。緊急ケースにおいて、1例本人の往診医によるラゲブリオの処方を行うことができ、その後、診療所でもラゲブリオやゾコーバが処方できるよう管理者および診療所主任の手配により実現できている。

また、令和２年度に導入した睡眠時のバイタルを職員室で把握できる眠りスキャンは利用者見守り時の安心に大いに役立った。

イ　利用者一人ひとりの生活の質の向上

コロナ禍で利用者が失っている社会とのつながり、活力や心身の不調は深刻であり支援者として将来的に総括を求められる内容であるが、療護園においては、生活の質や健康について、支援者として出来る限りの支援を検討・実施した。

コロナの平穏時は、感染症予防に取り組みつつ社会生活が回復できるよう外出のサポートを行った。支援者の努力もあり、外出時に家族写真を撮る者、墓参りに行くもの、衣服の買いそろえなど、一定のニーズを満たせた利用者は多い。

理学療法士によるリハビリテーションでは機能訓練のほか、必要な装具や車いすの更新が着実になされている。給食では、管理栄養士と調理師が利用者に合わせたきめ

細かい食事メニューを実現させ、その取り組みは給食会社でも注目され、ベストパフォーマンス賞を受賞するなど評価されている。毎回の食事については、利用者・職員の楽しみになっていた。前施設長時代に導入した眠りスキャン用Ｗｉ－Ｆｉの活用として、4年度もウェブ面会を週2回3枠で継続しご家族の安心につながったほか、利用者のYouTube等の動画視聴が2台のテレビで視聴できるようになり喜ばれた。社会参加として、令和4年7月10日　参議院議員選挙の執行を指定病院等不在者投票事務取扱要領に基づき実施した。北・中京・伏見・西京区に住民票のある20名が施設内での票を投じた。

ウ　業務の効率化により、超過勤務を削減

年中職員が陽性者や濃厚接触者などで休むことが続き、業務の省力・効率化では、可動式座敷トイレの導入および眠りスキャンの活用にとどまっている。

令和2年度に導入した睡眠時のバイタルを職員室で把握できる眠りスキャンがなければ、夜間の無呼吸チェックや不調者の体調確認について更なる介護負担が増したと考えられる。動画マニュアルは出来ていないが、急変時や感染予防マニュアルは更新できており食中毒・ノロウィルスによる嘔吐の際の対応等の研修も管理栄養士の協力により実施は出来ている。

エ　その他

施設ライフラインの環境改善では、ボイラーの整備（修理2回）を実施したほか、ファンコイル式エアコンからルームエアコンへの変更に取り組んだ。

避難訓練（災害想定を含む）、施設内で実施する健康診断などコロナ禍であっても欠かすことの出来ない取り組みは実施できている。

（5）情　報

ア　情報発信・開示

療護園通信を2回発行したほか、ブログの更新については継続し取り組んだ。

イ　利用者の満足度、苦情の把握

利用者の声については、常に施設長室の扉を開けていることで、日頃より頻回に伺うことが出来た。日常場面での利用者からの声としては、他利用者への小言であったり、排便コントロールのうまくいかない嘆きであった。苦情についてはなかった。
第三者委員による利用者との面談はコロナの関係で1回実施となった。

ウ　リスクへの対応

アクシデントの本部への年間報告件数は２９件、昨年度３７件より８件減少した。内容の20件は服薬関係（落下薬・注入食漏れ・廃棄による財物の滅失4件も含む）が占めている。原因分析や再発防止の検討・改善提案を毎回打ち出してきているが、依然として、連携時のヒューマンエラーが散見されており原因解明や改善点については、診療所管理者や嘱託医に報告と相談の上、必要な対策などについて、職員に対し毎回

注意喚起を行った。創傷１件、打撲４件のうち４件は職員のいない場所で、自身で物を取ろうとして車いすからの転倒などが多かった。幸いにも、通院を継続するほどの怪我には至っていない。

（６）育成

ア　実習やボランティアの受入状況

西総合支援学校より就労実習の一環として施設周りの清掃実習として３名の受け入れを行った。例年の協力に対し教育委員会より表彰状を頂戴した。

大枝中学校の車いす講座への協力としては、福祉学習用に車いす８台を貸し出した。台数確保のために、法人本部の協力も得た。

イ　職員育成

昨年度同様、職員育成については、育成担当者による個別指導と中堅職員および主任と連携したフォローの徹底を重視した。課題としては、結果的に新卒の新規採用職員２名が退職した。自立支援法上では、施設入所支援への給付は非常に低額に抑えられ、夜間の支援体制も３名で十分となっているが、療護園に於いては常時の支援を必要とする方の支援が多く、他の施設では受け入れができない対象の方も療護園では支えてきた経過がある。（区分については２名を除きすべてが６、医療的ケアを必要とする方が15名）夜間は少ない人数体制で支援することになることへの不安や、コロナ禍での業務増大など、不安になってもやむを得ない状況もあったかもしれない。そのような理由で、園内や法人内での研修・OJTに取り組んできたが、新卒職員の定着課題は継続している。療護園全体の職員像としては、法人全体で実施する組織活性化プログラムやストレスチェック表の結果を集約すると、療護園の職場風土は「体力的にはしんどくて、専門的な仕事を要求される職場である。だが、職員同士の関係はよく、支援にも遣り甲斐を感じている。また、仕事と自身の生活・休みとは切り離せている。」というもの。多くの職員の熱意と善意や、長年働いている非常勤職員のご利用者への思いや、支援に「価値」を求めて働く熱意のある職員に支えられている。また、この風土は長い経過の中でご利用者・ご家族もよく理解されているのが良く解るのが療護園の姿であろう。今年度は、陽性者・濃厚接触者の発生で、日常的に勤務体制も変更するなど、不安定ながらの運営の年であったが、コロナ感染の拡大が収まれば、さらなる良い職場づくり・良い支援の実現は可能だと考える。

ウ　その他

従前より取り組んでいる虐待防止委員会・ＱＯＬ委員会・リスク管理委員会などは積極的に取り組むことが出来た。特に虐待防止員会では、職員アンケートをGoogle Foamで作成し職員が参加しやすく改善したほか、日々のスローガンや毎月ポスターを制作するなど各担当者が精力的に活動を継続した。

個々の努力として、社会福祉士・介護福祉士の試験に取り組み２名が合格したほか、洛西福祉会七彩の家が独自に開催する初任者研修に参加させていただいた非常勤職員２名が初任者研修を修了することができた。２名は支援から陽性や濃厚接触者となるこ

とがあり、洛西福祉会の全面的な協力により、3 回の補講を実施して下さることで本人も頑張ることができた。なお、洛西福祉会による受講料の割引や、法人内の資格取得助成制度を活用でき、2 名及び福祉士取得職員も費用負担を少なく専門性をアップできている。

（7）施設整備

主な備品購入、経年劣化等による修繕他は、次のとおり。

ア　ルームエアコン設置および電源工事

利用者居室の空調について、開所当初から設置しているファンコイルタイプ（ガス式）のものを使用しているが設備の老朽化が進み屋上の室外機について入れ替えが必要となった。これを機にルームエアコンは電気式にして、各部屋（12 台）ごとに温度調整をすることとした。導入に向けては電気工事も必要となり、503 万円を投じて工事を実施した。

イ　南女性棟デイルームの床改修

ファンコイルエアコン配管からの結露による 2 次的な床の剥がれを上記にあわせ改修できた。

ウ　特殊浴槽緊急修繕

浴槽を持ち上げる油圧式モーターの入れ替えにより、寿命を延ばすことができたが、耐用年数を考えると令和 6 年度には、買い替えを検討する必要がある。

エ　ボイラーの修繕

ボイラー室については、給湯（燃焼）が途中で止まることや、配管のジョイント部が割れ大量の水が噴き出し、その中を副施設長が浸水を止めるために業者が到着する前にバルブを締めて対応したり、コンピューターユニットの不具合がみられた際には、ユニットの大部分を交換するなど様々な老朽化による不具合の対応に追われた。

オ　利用者ベッドの入れ替え（5 台）

3 年度・4 年度で全員のベッドの更新ができた。

カ　可動式座敷トイレベッドの増設

中央男子等の座敷トイレの工事を実施。介護負担の減少と、座敷トイレ床からご利用者が自身の体動で落ちるリスクがなくなった。

キ　WEB テレビ更新

日中活動室だけでなく、デイルームにも設置することにより、利用者ニーズがさらに反映出来るようになった。設置費用についてはご逝去された利用者 U 様からのご寄付を充当させていただいた。

第一号第四様式

京都市洛西ふれあいの里療護園区分　資金収支計算書

（自）2022年 4月 1日（至）2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

		勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
		障害福祉サービス等事業収入	[333,060,000]	[336,486,593]	[△ 3,426,593]
		自立支援給付費収入	(305,070,000)	(299,096,967)	(5,973,033)
		介護給付費収入	304,390,000	298,330,782	6,059,218
		計画相談支援給付費収入	680,000	766,185	△ 86,185
		利用者負担金収入	0	386,830	△ 386,830
		補足給付費収入	(3,840,000)	(4,648,248)	(△ 808,248)
		特定障害者特別給付費収入	3,840,000	4,648,248	△ 808,248
		特定費用収入	(23,510,000)	(22,461,892)	(1,048,108)
		特定費用収入（課税）	550,000	880,767	△ 330,767
		特定費用収入（非課税）	22,960,000	21,581,125	1,378,875
		その他の事業収入	(640,000)	(9,892,656)	(△ 9,252,656)
		補助金事業収入（公費）不課税	570,000	9,779,716	△ 9,209,716
		受託事業収入（公費）課税	70,000	103,400	△ 33,400
	収	その他の事業収入（不課税）	0	9,540	△ 9,540
	入	医療事業収入	[17,990,000]	[20,177,584]	[△ 2,187,584]
		外来診療収入（公費）	15,080,000	15,138,136	△ 58,136
		外来診療収入（一般）	60,000	82,510	△ 22,510
		保健予防活動収入	2,450,000	3,248,658	△ 798,658
		その他の医療事業収入	(400,000)	(1,708,280)	(△ 1,308,280)
		補助金事業収入（公費）不課税	100,000	1,368,000	△ 1,268,000
		その他の医療事業収入	300,000	340,280	△ 40,280
		経常経費寄附金収入	[0]	[1,020,000]	[△ 1,020,000]
		その他の収入	[2,490,000]	[2,897,457]	[△ 407,457]
		利用者等外給食費収入	2,030,000	2,421,700	△ 391,700
		雑収入	(460,000)	(475,757)	(△ 15,757)
		雑収入（課税）	440,000	433,297	6,703
		雑収入（非課税）	20,000	0	20,000
		雑収入（不課税）	0	42,460	△ 42,460
		事業活動収入計(1)	353,540,000	360,581,634	△ 7,041,634
		人件費支出	[261,610,000]	[248,273,900]	[13,336,100]
		職員給料支出	(129,370,000)	(129,628,655)	(△ 258,655)
		職員給料支出（課税）	2,930,000	3,221,328	△ 291,328
		職員給料支出（不課税）	126,440,000	126,407,327	32,673
		職員賞与支出	39,710,000	31,770,497	7,939,503
		非常勤職員給与支出	(45,230,000)	(43,045,211)	(2,184,789)
		非常勤職員給与（課税）	1,370,000	1,322,060	47,940
		非常勤職員給与（不課税）	43,860,000	41,723,151	2,136,849
		派遣職員費支出	11,370,000	8,506,231	2,863,769
		退職給付支出	4,720,000	4,531,165	188,835
		法定福利費支出	31,210,000	30,792,141	417,859
事		事業費支出	[55,770,000]	[61,743,655]	[△ 5,973,655]
業		給食費支出	17,590,000	16,463,003	1,126,997

第一号第四様式

京都市洛西ふれあいの里療護園区分　資金収支計算書

（自）2022年 4月 1日（至）2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
活動による収支		診療・療養等材料費支出	470,000	409,442	60,558
		保健衛生費支出	5,200,000	5,509,434	△ 309,434
		教養娯楽費支出	430,000	306,865	123,135
		水道光熱費支出	(20,890,000)	(27,473,182)	(△ 6,583,182)
		電気料	5,730,000	7,911,696	△ 2,181,696
		ガス料	8,990,000	13,490,553	△ 4,500,553
		上下水道料	6,170,000	6,070,933	99,067
		燃料費支出	20,000	0	20,000
		消耗器具備品費支出	8,210,000	8,919,812	△ 709,812
		保険料支出	380,000	342,800	37,200
		賃借料支出	2,290,000	2,132,959	157,041
		教育指導費支出	70,000	0	70,000
		車輌費支出	(170,000)	(171,148)	(△ 1,148)
		燃料油脂費	150,000	171,148	△ 21,148
		その他の車両費	20,000	0	20,000
		雑支出	(50,000)	(15,010)	(34,990)
	支出	雑支出（課税）	30,000	10,010	19,990
		雑支出（不課税）	20,000	5,000	15,000
		事務費支出	[46,270,000]	[44,177,970]	[2,092,030]
		福利厚生費支出	(1,500,000)	(2,103,711)	(△ 603,711)
		福利厚生費（課税）	1,100,000	1,063,144	36,856
		福利厚生費（不課税）	400,000	1,040,567	△ 640,567
		職員被服費支出	100,000	6,930	93,070
		旅費交通費支出	1,650,000	1,336,070	313,930
		研修研究費支出	230,000	191,310	38,690
		事務消耗品費支出	1,250,000	795,612	454,388
		印刷製本費支出	570,000	588,668	△ 18,668
		修繕費支出	4,220,000	4,206,530	13,470
		通信運搬費支出	670,000	637,999	32,001
		会議費支出	30,000	1,208	28,792
		広報費支出	110,000	4,400	105,600
		業務委託費支出	28,510,000	27,270,433	1,239,567
		手数料支出	1,110,000	1,148,827	△ 38,827
		租税公課支出	850,000	815,900	34,100
		保守料支出	3,820,000	3,725,841	94,159
		渉外費支出	900,000	752,691	147,309
		諸会費支出	(620,000)	(550,000)	(70,000)
		諸会費支出（課税）	20,000	0	20,000
		諸会費支出（不課税）	600,000	550,000	50,000
		雑支出	(130,000)	(41,840)	(88,160)
		雑支出（課税）	100,000	41,840	58,160
		雑支出（不課税）	30,000	0	30,000

第一号第四様式

京都市洛西ふれあいの里療護園区分　資金収支計算書

（自）2022年 4月 1日（至）2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
		支払利息支出	[50,000]	[16,077]	[33,923]
		その他の支出	[1,250,000]	[1,339,908]	[△ 89,908]
		利用者等外給食費支出	1,210,000	1,268,150	△ 58,150
		雑支出	40,000	71,758	△ 31,758
		事業活動支出計(2)	364,950,000	355,551,510	9,398,490
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 11,410,000	5,030,124	△ 16,440,124
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出	固定資産取得支出	[12,620,000]	[12,108,393]	[511,607]
		建物取得支出	7,720,000	7,102,700	617,300
		器具及び備品取得支出	4,900,000	5,005,693	△ 105,693
		ファイナンス・リース債務の返済支出	[230,000]	[200,222]	[29,778]
		施設整備等支出計(5)	12,850,000	12,308,615	541,385
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 12,850,000	△ 12,308,615	△ 541,385
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	[39,180,000]	[39,070,000]	[110,000]
		人件費積立資産取崩収入	22,760,000	22,760,000	0
		修繕積立資産取崩収入	10,390,000	10,390,000	0
		備品等購入積立資産取崩収入	6,030,000	5,920,000	110,000
		拠点区分間繰入金収入	[21,640,000]	[21,800,000]	[△ 160,000]
		サービス区分間繰入金収入	[700,000]	[0]	[700,000]
		その他の活動収入計(7)	61,520,000	60,870,000	650,000
	支出	積立資産支出	[0]	[34,000,000]	[△ 34,000,000]
		人件費積立資産支出	0	5,000,000	△ 5,000,000
		修繕積立資産支出	0	16,500,000	△ 16,500,000
		備品等購入積立資産支出	0	12,500,000	△ 12,500,000
		拠点区分間繰入金支出	[36,560,000]	[44,640,000]	[△ 8,080,000]
		サービス区分間繰入金支出	[700,000]	[0]	[700,000]
		その他の活動支出計(8)	37,260,000	78,640,000	△ 41,380,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		24,260,000	△ 17,770,000	42,030,000
予備費支出(10)			0	――	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			0	△ 25,048,491	25,048,491

前期末支払資金残高(12)	222,135,107	222,135,107	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	222,135,107	197,086,616	25,048,491

第二号第四様式

京都市洛西ふれあいの里療護園区分　事業活動計算書

（自）2022年 4月 1日（至）2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	収益	障害福祉サービス等事業収益	[336,486,593]	[342,484,149]	[△ 5,997,556]
		自立支援給付費収益	(299,096,967)	(299,276,495)	(△ 179,528)
		介護給付費収益	298,330,782	298,674,194	△ 343,412
		計画相談支援給付費収益	766,185	602,301	163,884
		利用者負担金収益	386,830	0	386,830
		補足給付費収益	(4,648,248)	(5,496,271)	(△ 848,023)
		特定障害者特別給付費収益	4,648,248	5,496,271	△ 848,023
		特定費用収益	(22,461,892)	(22,075,993)	(385,899)
		特定費用収益（課税）	880,767	752,258	128,509
		特定費用収益（非課税）	21,581,125	21,323,735	257,390
		その他の事業収益	(9,892,656)	(15,635,390)	(△ 5,742,734)
		補助金事業収益（公費）不課税	9,779,716	15,375,850	△ 5,596,134
		受託事業収益（公費）課税	103,400	251,900	△ 148,500
		その他の事業収益（課税）	0	6,540	△ 6,540
		その他の事業収益（不課税）	9,540	1,100	8,440
		医療事業収益	[20,177,584]	[19,466,940]	[710,644]
		外来診療収益（公費）	15,138,136	13,021,912	2,116,224
		外来診療収益（一般）	82,510	86,400	△ 3,890
		保健予防活動収益	3,248,658	6,328,928	△ 3,080,270
		その他の医療事業収益	(1,708,280)	(29,700)	(1,678,580)
		補助金事業収益（公費）不課税	1,368,000	0	1,368,000
		その他の医業収益	340,280	29,700	310,580
		経常経費寄附金収益	[1,020,000]	[100,000]	[920,000]
		サービス活動収益計(1)	357,684,177	362,051,089	△ 4,366,912
サービス活動増		人件費	[254,225,900]	[210,260,475]	[43,965,425]
		職員給料	(129,628,655)	(114,394,314)	(15,234,341)
		職員給料（課税）	3,221,328	3,001,768	219,560
		職員給料（不課税）	126,407,327	111,392,546	15,014,781
		職員賞与	23,864,620	16,349,603	7,515,017
		賞与引当金繰入	13,857,877	8,310,000	5,547,877
		非常勤職員給与	(43,045,211)	(28,750,360)	(14,294,851)
		非常勤職員給与（課税）	1,322,060	1,071,885	250,175
		非常勤職員給与（不課税）	41,723,151	27,678,475	14,044,676
		派遣職員費	8,506,231	13,151,852	△ 4,645,621
		退職給付費用	4,531,165	4,298,202	232,963
		法定福利費	30,792,141	25,006,144	5,785,997
		事業費	[61,743,655]	[51,911,308]	[9,832,347]
		給食費	16,463,003	15,753,261	709,742
		診療・療養等材料費	409,442	472,929	△ 63,487
		保健衛生費	5,509,434	4,377,653	1,131,781
		教養娯楽費	306,865	319,442	△ 12,577
		水道光熱費	(27,473,182)	(21,057,062)	(6,416,120)

第二号第四様式

京都市洛西ふれあいの里療護園区分　事業活動計算書

（自）2022年 4月 1日（至）2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
減の部	費用	電気料	7,911,696	5,780,789	2,130,907
		ガス料	13,490,553	9,405,592	4,084,961
		上下水道料	6,070,933	5,870,681	200,252
		消耗器具備品費	8,919,812	7,330,533	1,589,279
		保険料	342,800	400,250	△ 57,450
		賃借料	2,132,959	1,956,656	176,303
		車輌費	(171,148)	(238,522)	(△ 67,374)
		燃料油脂費	171,148	150,202	20,946
		その他の車両費	0	88,320	△ 88,320
		雑費	(15,010)	(5,000)	(10,010)
		雑費（課税）	10,010	0	10,010
		雑費（不課税）	5,000	5,000	0
		事務費	[44,177,970]	[42,780,480]	[1,397,490]
		福利厚生費	(2,103,711)	(1,376,689)	(727,022)
		福利厚生費（課税）	1,063,144	1,035,072	28,072
		福利厚生費（不課税）	1,040,567	341,617	698,950
		職員被服費	6,930	72,203	△ 65,273
		旅費交通費	1,336,070	1,094,480	241,590
		研修研究費	191,310	60,970	130,340
		事務消耗品費	795,612	1,317,996	△ 522,384
		印刷製本費	588,668	549,825	38,843
		修繕費	4,206,530	3,260,568	945,962
		通信運搬費	637,999	568,080	69,919
		会議費	1,208	1,757	△ 549
		広報費	4,400	8,800	△ 4,400
		業務委託費	27,270,433	30,206,405	△ 2,935,972
		手数料	1,148,827	160,560	988,267
		租税公課	815,900	215,000	600,900
		保守料	3,725,841	3,405,808	320,033
		渉外費	752,691	3,500	749,191
		諸会費	(550,000)	(382,000)	(168,000)
		諸会費（不課税）	550,000	382,000	168,000
		雑費	(41,840)	(95,839)	(△ 53,999)
		雑費（課税）	41,840	95,839	△ 53,999
		減価償却費	[10,150,334]	[10,192,961]	[△ 42,627]
		国庫補助金等特別積立金取崩額	[△ 639,844]	[△ 833,872]	[194,028]
		サービス活動費用計(2)	369,658,015	314,311,352	55,346,663
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		△ 11,973,838	47,739,737	△ 59,713,575
サービス	収益	その他のサービス活動外収益	[2,897,457]	[2,906,641]	[△ 9,184]
		利用者等外給食収益	2,421,700	2,071,640	350,060
		雑収益	(475,757)	(835,001)	(△ 359,244)
		雑収益（課税）	433,297	467,392	△ 34,095

第二号第四様式

京都市洛西ふれあいの里療護園区分　事業活動計算書

（自）2022年 4月 1日（至）2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
ス活動外増減の部		雑収益（非課税）	0	19,950	△ 19,950
		雑収益（不課税）	42,460	347,659	△ 305,199
		サービス活動外収益計(4)	2,897,457	2,906,641	△ 9,184
	費用	支払利息	[16,077]	[28,814]	[△ 12,737]
		その他のサービス活動外費用	[1,339,908]	[1,132,820]	[207,088]
		利用者等外給食費	1,268,150	1,099,100	169,050
		雑損失	71,758	33,720	38,038
		サービス活動外費用計(5)	1,355,985	1,161,634	194,351
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		1,541,472	1,745,007	△ 203,535
経常増減差額(7)=(3)+(6)			△ 10,432,366	49,484,744	△ 59,917,110
特別増減の部	収益	固定資産売却益	[0]	[79,869]	[△ 79,869]
		車輌運搬具売却益	0	79,869	△ 79,869
		拠点区分間繰入金収益	[21,800,000]	[0]	[21,800,000]
		拠点区分間固定資産移管収益	[0]	[9,912]	[△ 9,912]
		特別収益計(8)	21,800,000	89,781	21,710,219
	費用	固定資産売却損・処分損	[202,409]	[16]	[202,393]
		建物売却損・処分損	0	1	△ 1
		車輌運搬具売却損・処分損	0	1	△ 1
		器具及び備品売却損・処分損	202,409	14	202,395
		国庫補助取崩額（除却等）	[△ 202,400]	[0]	[△ 202,400]
		拠点区分間繰入金費用	[44,640,000]	[51,870,000]	[△ 7,230,000]
		拠点区分間固定資産移管費用	[1]	[1]	[0]
		特別費用計(9)	44,640,010	51,870,017	△ 7,230,007
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 22,840,010	△ 51,780,236	28,940,226
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			△ 33,272,376	△ 2,295,492	△ 30,976,884
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		278,830,983	275,456,475	3,374,508
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		245,558,607	273,160,983	△ 27,602,376
	基本金取崩額(14)		[0]	[0]	[0]
	その他の積立金取崩額(15)		[39,070,000]	[19,070,000]	[20,000,000]
	人件費積立金取崩額		22,760,000	3,700,000	19,060,000
	修繕積立金取崩額		10,390,000	4,700,000	5,690,000
	備品等購入積立金取崩額		5,920,000	9,110,000	△ 3,190,000
	施設整備等積立金取崩額		0	1,560,000	△ 1,560,000
	その他の積立金積立額(16)		[34,000,000]	[13,400,000]	[20,600,000]
	人件費積立金積立額		5,000,000	0	5,000,000
	修繕積立金積立額		16,500,000	13,000,000	3,500,000
	備品等購入積立金積立額		12,500,000	400,000	12,100,000
	次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)		250,628,607	278,830,983	△ 28,202,376

第三号第四様式

京都市洛西ふれあいの里療護園区分　貸借対照表

2023年 3月31日現在

社会福祉法人京都総合福祉協会

（単位：円）

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	230,952,755	246,717,017	△ 15,764,262	流動負債	48,171,209	33,106,114	15,065,095
現金預金	38,742,626	32,829,005	5,913,621	事業未払金	30,973,439	23,847,566	7,125,873
事業未収金	55,638,558	53,723,062	1,915,496	その他の未払金	307,400	283,312	24,088
未収金	178,116	8,024	170,092	１年以内返済予定リース債務	43,070	214,204	△ 171,134
未収補助金	6,142,885	8,592,793	△ 2,449,908	未払費用	2,182,900	0	2,182,900
貯蔵品	298	0	298	預り金	95,000	167,720	△ 72,720
立替金	20,507	9,351	11,156	職員預り金	307,400	283,312	24,088
前払金	33,660	33,550	110	賞与引当金	14,262,000	8,310,000	5,952,000
拠点区分間貸付金	130,196,105	151,521,232	△ 21,325,127				
固定資産	292,464,339	295,778,690	△ 3,314,351	固定負債	0	29,088	△ 29,088
その他の固定資産	292,464,339	295,778,690	△ 3,314,351	リース債務	0	29,088	△ 29,088
建物	44,285,117	41,206,215	3,078,902	負債の部合計	48,171,209	33,135,202	15,036,007
構築物	3,216,139	3,567,914	△ 351,775	純資産の部			
車輌運搬具	3,045,304	3,676,931	△ 631,627	国庫補助金等特別積立金	2,353,278	3,195,522	△ 842,244
器具及び備品	19,316,859	19,353,048	△ 36,189	国庫補助金等特別積立金	2,353,278	3,195,522	△ 842,244
有形リース資産	0	27,951	△ 27,951	その他の積立金	222,264,000	227,334,000	△ 5,070,000
権利	76,440	76,440	0	その他の積立金	222,264,000	227,334,000	△ 5,070,000
ソフトウェア	187,000	290,440	△ 103,440	人件費	12,540,000	30,300,000	△ 17,760,000
無形リース資産	43,070	215,341	△ 172,271	修繕	42,090,000	35,980,000	6,110,000
積立資産	222,264,000	227,334,000	△ 5,070,000	備品等購入	46,730,000	40,150,000	6,580,000
人件費	12,540,000	30,300,000	△ 17,760,000	移行時特別	70,964,000	70,964,000	0
修繕	42,090,000	35,980,000	6,110,000	施設整備等	49,940,000	49,940,000	0
備品等購入	46,730,000	40,150,000	6,580,000	次期繰越活動増減差額	250,628,607	278,830,983	△ 28,202,376
移行時特別	70,964,000	70,964,000	0	（うち当期活動増減差額）	△ 33,272,376	△ 2,295,492	△ 30,976,884
施設整備等	49,940,000	49,940,000	0				
長期前払費用	30,410	30,410	0	純資産の部合計	475,245,885	509,360,505	△ 34,114,620
資産の部合計	523,417,094	542,495,707	△ 19,078,613	負債及び純資産の部合計	523,417,094	542,495,707	△ 19,078,613